

鶴ヶ島市附属機関会議録

【開催概要】

会議名	令和6年度第5回南小・中学校 学校運営協議会
日時	令和7年3月17日（月曜日） 14時40分～15時55分
場所	南中学校 翔南ルーム
出席委員	宇津木委員、内野泰委員、大塚委員、佐藤孝委員、佐藤嘉委員、佐鳥委員、三浦委員、金泉委員、藤尾委員、田中委員、山口委員、廣田委員、内野昌委員、鯨井委員、田嶋委員（南中校長）、小川委員（南小校長）
欠席委員	鈴木委員、高橋則委員、高橋宏委員、黒川委員
事務局	南小学校 目黒教頭 南中学校 藤田教頭、長村事務主任
議題	（1）第4回学校運営協議会議事録等について （2）令和7年度学校経営方針についての承認 （3）各団体から活動報告 （4）その他
配布資料	・令和6年度鶴ヶ島市立南小・中学校 第5回学校運営協議会次第 ・令和6年度第4回学校運営協議会議事録 ・鶴ヶ島市立南小学校 学校だより ・南小学校学校評価 報告書 ・鶴ヶ島市立南中学校 学校だより ・南中学校学校評価 報告書 ・地震災害発生時の鶴ヶ島市立小・中学校での対応について ・第41回 入学式の御案内（南小） ・入学式のご案内（南中） ・令和7年度 鶴ヶ島市立南小学校学校経営方針（案） ・令和7年度 鶴ヶ島市立南中学校学校経営方針（案） ・地域ボランティア振り返りの会 記録
公開・非公開	公開
傍聴人数	0人
会議要旨	【議題】 （1）第4回学校運営協議会議事録確認 ・確認した。 （2）令和7年度学校経営方針についての承認 ・小学校、中学校の順に校長が経営方針（案）を説明し、委員からの意見を聞き、質問に答えた。 （3）各団体から活動報告 ・前回の運営協議会以降の学校の様子、行事等を南小・中学校の教頭が報告した。

	・各団体の今後の予定、考え、振り返りの報告があった。 (4) その他 ・来年度の委嘱状交付式について確認があった。
--	---

【議事概要】

○会長あいさつ

<会長>

- ・本日が第5回の学校運営協議会ということで、今年度最後の協議会となります。
- ・今日の主な議題は令和7年度の学校運営方針についての承認ということです。前回学校評価の検討をしましたが、それらを踏まえて学校から運営方針が出ます。それについて検討していきたいと思います。

○校長あいさつ

<南中校長>

- ・3月14日の南中学校の卒業式へ御臨席いただき、感謝申し上げます。厳かな中にも温かい雰囲気の中で卒業式を行うことができました。卒業生も涙々の式となり、仲間との絆、教職員との温かい触れ合い、絆があったことを改めて感じました。現在の1、2年生も同様に感動的な卒業式を迎えられるよう、引き続き全職員で全生徒を育てる教育活動を進めてまいります。
- ・今年度の授業日も残り7日となりました。小学校は24日(月)の卒業式を控え、明日が予行とのこと。緊張感の中でも集中して練習に励んでいるということです。4月からは中学校でお預かりする子供たちなので、小学校で大事に育てていただいた子供たちを温かく迎え入れられるよう準備を進めてまいります。
- ・この後、来年度の経営方針について忌憚のないご意見をいただければと思います。

議題(1)

令和6年度第4回学校運営協議会議事録確認

<会長>

- ・まず定足数の確認ですが、本日の協議会は成立します。
- ・前回は学校評価の結果を踏まえてグループ討議を行いました。その結果が記載されているので一読をお願いします。

議題(2)

令和7年度の学校経営方針についての承認

<会長>

令和7年度の学校経営方針について小学校からお願いします。

<南小校長>

- ・根幹となる1～3は変えていない。私が校長になる以前から継続、伝統的に引き継いでいる。
- ・私の学校経営の根幹になる部分の一つとして「自信」という言葉を考えている。子供たちが勉強で分からなかったものについて、授業を通して分かるようになって自信をつけさせてあげたい。また、運動の鉄棒なども、苦手な逆上がりができなかったものが授業を通して先生から教わって、周りを見ながらできるようになった、などで自信をつけさせてあげたい。クラスでの友達、班での活動、他との関わりで自分のよさ、周りのよさに気づいて自分でも自信をつけさせてあげたい。このように考えている。

4. 最重点事項

(1) 市内13校統一して行っている学び合い学習を推進する。「主体的、対話的で深い学び」も継続して国や県の方針に沿ってやっていく。ICTやタブレット等を使用した学習指導、学習支援を継続して行う。それによって「一人残らず学ぶ教室」を実現していく。

(2) 自分が必要とされていると思える自己有用感を育む特別活動の推進について、教員からの働きかけや友達同士の関わりで推進していく。

特別支援学級だけでなく通級や様々な困っている子に対しての支援の場となっているので、特別支援教育の充実ということを行っていく。

また、体験的な活動の推進を進めていきたい。体験的なものをより多く、机上、先生の話を受け身で聞くのではなく実際目で見て体で感じて身になる教育にしていきたい。今年度も地域のサポートを受け特別支援学級が畑で作物栽培を行った。地域の方に学校に来ていただいて体験的な活動をしていただいている。

(3) 変えていない。あたりまえの部分をあたりまえにできることを継続。

5. 重点・努力点事項

(1) 地域と共にある学校として、皆様に支えられながら学校運営協議会の充実、協議会の方々の意見をもとに学校を進めていく。地域の方からのサポートを多くいただきながら進めていきたい。

(2) は新しく入れた。来年度から鶴ヶ島市全体で防災教育を改めて確認して力を入れていく。今まで行っていた避難訓練のかたちを少し変えていく。地震が起こったらグラウンドへ避難するということから、校舎は耐震なので外に出ない方が安全であり、校内にすることが大事になる。防災教育を見直してやっていくため追加した。

(3) 令和14年度に小中一貫が実施となる。今は学習、生徒指導等の共通理解を中心に行っている。継続して行い、スムーズに令和14年度を迎えられるよう考えている。

<会長>

「自己有用感を育む特別活動」とは具体的にどのようなものか？

<南小校長>

友達関係づくり、係活動など。学級活動を大事にしていく。

<会長>

設備の安全は定期点検しているか？教室に残った結果教室で何かあってはならない。

<南小校長>

点検はしている。市教委の確認もある。

<南中校長>

・学校教育目標は変わっていない。子育ての最終目標である自立を助ける力につながると思う。

・目指す学校像も同じである。ただし「学校は仲間と共に学ぶ場所」とすっきりまとめた。合言葉として大切にしていく。学校だからこそ、仲間とだからこそできる取組を行っていく。

・目指す生徒像は南小中共通である。

・目指す教職員像は今年度から引き続きである。人は人と出会って学び育まれていく。教員もそうだが地域の大人、社会で活躍している卒業生との関わり、人とのコミュニケーションの中で子供たちを育てていきたい。教育への情熱、教育の専門家として確かな力量を持つ教職員、総合的な人間力を持つことを引き続き意識していきたい。

・学校経営方針も引き続きであり、授業で生徒を育てていく。教育活動の質の高さを求めていく。全職員で全生徒を育てる。安全で潤いのある学習環境を整えていく。

・令和7年度の重点は今年度から引き続きで「生徒を主語にした教育活動」の一層の推進。学校で行う全ての教育活動において生徒が自立した学びを促進していきたい。

（１）鶴ヶ島市全体で行っている学び合い学習。また、本校は今年度から２年間学力向上プロジェクトで加配がついている。その取組を引き続き行っていく。特に数学科の授業力向上を図る。

（２）全国的に不登校生徒の増加がある中で学校での居場所づくりを進めることが学校に足向させることにもつながると考える。教室までは行けなくても学校には来られるという生徒もいる。そういう生徒たちがはばたきルームの中で学習を進めていく運営を引き続き更に充実を図る。

学年担任制の推進も引き続き進めていく。今の１年生がかなり力を入れており、分担しながら学年全員が担任している。学年主任の負担増が課題として見えてきた。

（３）学校運営協議会の充実は引き続きよろしくお願いいたします。

防災教育は市の方針であり、市内で防災訓練を統一していく。市から出された統一の文書も資料に入れている。すぐ引き渡しできないことへのご理解、ご協力をお願いいたします。情報提供も一斉配信するので学校へのお問い合わせは控えていただき

い。混乱の中で情報が交錯してしまうかも知れませんが、少しでも精査していくための措置としてご理解、ご協力をお願いします。

「大地震が起きたら」をご家庭でも掲示をお願いしたい。３月１９日に保護者に配布を考えている。

こういったことは学校だけでなく家庭や地域の協力が必須と考えている。南小とも連携を進めていきながら子供たちの安全第一を考えた防災訓練を引き続き行っていきたい。

小中一貫校を見据えた南小学校との連携も少しずつでも進めていきたい。

学校からの情報発信の充実については、学校評価でも保護者からの評価が低い傾向にあるので引き続き充実させていく。

<会長>

何か質問はありますか。

<委員>

経営方針の承認とは少し異なるが、先日自治会で集まったときに鶴二小から南中、もしくは藤中への進学が選択制と聞いた。現在鶴ヶ丘地区で鶴二小を卒業して南中に通っている子はいるか？

<南中校長>

今回の３年生の卒業をもって選択制は終了した。

<委員>

その保護者は選択制と聞いていると言っていた。鶴ヶ丘は藤中では遠いので南中に通いたい子も中にはいるらしい。小中一貫校になったときにフレキシブルに鶴二小から南中への進学の可能性はあるか？

<会長>

今の３年生までは選択が可能だった。

<委員>

学区審議会では今の３年生の卒業までは、と選択制をコールしていた。それが終わった時点で地域で学区を分けることとなっている。

<委員>

藤中は通学路の問題もあって大変であり、今後どうなるかの話題はあるか？心配に思っている鶴二小の保護者もいる。

<南中校長>

市教委にもそういったご意見があるということはどこかで伝えておきたい。

<委員>

それを言い始めたら他の小学校でもどこもでてくるのでは。

<委員>

同じ地区で同じ小学校、中学校に上がることを目的としている。学区ごと、という選択しかない。

<委員>

自治体によって学区制の考え方は違うのでフレキシブルにやっている自治体も多い。将来的なものとして。

<委員>

小学校の経営方針の最重点事項（３）にある教職員の不祥事ゼロの徹底について。通常の学校経営方針の中になぜこの文言が入るのか気になった。あえて入れたということか？

<南小校長>

本校が、鶴ヶ島市がどうこうというわけではなく、自分の学校経営方針の戒めとして入れたい。あたりまえだがあってはいけないことであるが、県内でも嫌なニュースもある。改めて教職員にこの話をしたいという思いがあるので載せた。

<委員>

承知した。

<委員>

- ・防災の関係で市教委からの文書が出ているということだが、市の危機管理課との整合性はどうなっているのか。学校ではなく市教委がやることだとは思うが。
- ・地域として子供たちを見守っていく中で、もし在校中に地震が起きた時地域としてもどう対応していくのかということがある。在校中ならこうやる、というのがあれば地域、自治会への周知がないとどうなっているんだろうとなってしまうのでよろしくお願いしたい。

<会長>

- ・平日授業の時間帯に大地震が起きた時、自分は職場にいるがその時学校はどうなっているか？という時にどのように連絡は来るのか、来ないのか。地域で、ということを見ると学校運営協議会のメンバーに分かるような仕組みも必要ではないか。
- ・市教委が卒業式で「確かな学力、豊かな心、健やかな体」の三本柱をあげていたが、二校の方針の中で体力面についてはあまりないが、入れなくてもいいけれど何かしら体力の維持を考えていった方がよいのでは。

<委員>

暑さ対策についてはなるべく運動はさせないというニュースも見た。熱中症で倒れ

るケースも増えていると聞くので、各学校で考えなくてはいけないのでは。

<会長>

熱中症対策かつ体力の維持も考えてやっていければ。

<委員>

土日にスポーツ少年団でサッカーを指導している。熱中症対策は充分気を付けなければならないが、5月、6月から季節を追って体育の授業をやっていると徐々に体は暑さに慣れていく。そうすると8月の練習でも気分が悪くなることは案外少ない。各自で飲みたい時に飲めるようにしてやれば体育の授業も全然問題ない。そういうことをやった方がエアコンの中にずっといるよりいいと思う。今の暑さは異常なのでどこまでやるかは難しいが、何もかもやらない、ではなく大会は7月8月はやらない方針が出ていると思うが、練習は午前中だけにするなど工夫してやっていかないと体力はつかないと思う。体育も一時間ないくらいなのでうまくやっていけば暑さと体力両立できると自分は考える。

<会長>

昔は夏練の成果が秋に出る、というのあったが、今は秋になると落ちてしまう。

<委員>

目標の中で居場所づくり等書いてあるが、不登校、引きこもりの生徒が増えているという現実への学校の対応の仕方、皆学校に来て居場所を作ってくれたらということだとは思いますが、どうしてもだめな時の対応が盛り込まれているといいと思うが、いかがか？

<南中校長>

学校に一日も来られない子もいる。理由もいろいろ。特効薬はないから困っている。一番大事なのはつながりを断たないことだと思っている。保護者との連絡や、本人に少しでも会えるようつながりを断たないでやっていくことを大事にしてやっていきたい。

<南小校長>

小学校は保護者の影響力が大きい。保護者との連携もそうだが市の子育て支援課のサポートもいただき、市の教育センターのスクールソーシャルワーカーにも協力してもらっている。来られる場合はチャレンジルームでということで昨年度は結構な数いたが、今現在教室復帰もして一人になった。効果的だったと思う。スクールカウンセラーとの面談、保護者との連絡、関係機関との連携を継続する。

<委員>

防災について、今までは中学生が小学生の引き取り訓練をしていたが、それがなくなると中学生も保護者、大人が引き取ると変わるということか？

＜南中校長＞
その通りです。

＜委員＞
市の文書を見ると親が来るまでは学校で、と読めるが、両親とも遠方で当日中に学校にたどり着けない事態を見越して保護してもらえるということか？

＜南中校長＞
この文書ではそうなる。

＜委員＞
小中で一緒にまとめることはあるか？年上の子がいると小さい子も長い間待っていられるということもある。小中一貫になる方向なので、避難訓練も最終的には合流したらいいのではないか。

＜南中校長＞
そういったことも含めて小中で連携して話し合っていて決めていきたい。

＜委員＞
南小中は隣り合っているからできるが、他はどうか。

＜会長＞
それがここの地域の利点である。

＜委員＞
市教委はそこまで考えているのか。

＜会長＞
意見、質問がたくさん出たのでそれらを踏まえながら、来年度第1回目の学校運営協議会の場で修正したものを最終的なものとして次年度進めていきたい。

議題（３） 各団体から活動報告

＜南小教頭＞
・ 6年生、卒業式に向けて総まとめの時期。6年生を送る会ではどの学年の出し物も6年生に感謝を伝えるほほえましいものだった。6年生の出し物も南小の良いところの発表。いいかたちで終わった。
・ 6年生の総合の最後の活動で「南小学校に残せるものは何か？」を考える授業がある。下駄箱のクラス表示作成、靴を揃えるための中心線を書いたり、階段に暗記

や計算についての掲示物を作ったり、1年生の読み聞かせを实践した。下駄箱や階段については南小に来ていただいた際に見ていただければと思う。読み聞かせは普段よむよむの皆さんにボランティアでやっていただいているが、その日は6年生がまるでよむよむの方のようにやさしく読み聞かせすることができた。

南小のよいことは今後も伝統として続けていければと思う。

・3月24日（月）の卒業式に出席お願いします。4月8日（火）が入学式です。

<南中教頭>

・3年生、老人ホームへの交流訪問。昨年度はなかったが一昨年度は行っていた。老人ホームの方たちには好評。社会福祉協議会、地域支え合い協議会、健全育成会等のボランティア参加の影響が大きい。今後もどんどん行っていければと思う。

・やきいもフェス。今年初めて生徒を募って行った。生徒たちは進んで落ち葉掃きなどボランティアを自然と集まってやっていた。伐採した木の枝、たまった枯葉の処理として燃やしてやきいもを作ろうと企画し、消防署からも大丈夫、体験するのはいいことだと回答をいただいた。事前準備段階で地域の方から苦情の電話が入ってしまい、消防車の出動もあったがその方々へは消防署から説明して納得していただいた。こちらから地域の方への連絡が難しかったが、サザン支え合い協議会、健全育成会にお願いして連絡していただいた。また市民センターでも張り紙をしていただいた。地域の方にご協力いただいてありがとうございました。

当日は会長ほか3名の委員の方の協力のもと、子供たちは大満足だった。焚火することが子供たちは全くないのでいい経験ができた。しかも木はだいぶ減った。

○サザン地域支え合い協議会

・2月25日、松ヶ丘の集会所で子供見守り部の懇親会を行った。南小校長、南小PTA会長も出席。今後も見守りは引き続きやっていく。農業体験等については前回も話している。

○健全育成会

・3月19日に決めるが、4月12日（土）夏の収穫祭に向けてトウモロコシの種まきを実施予定。決まったら小学校には案内する。

○PTA

南中ではペンキ塗り、花壇整備、除草作業は今年度同様実施予定。

○松ヶ丘自治会

・地域全体に関わることはないが、支え合い協議会の防災部でやる避難所運営訓練について6月8日（日）に行うが、3月26日（水）に方向性を会議で決める。例年だと見学的になって実際にやってみる体験が薄らいでいるので、体験できるような訓練で考えている。また南中の生徒のボランティアをお願いしたい。

・国は東京で地震が起きた場合帰宅困難となるので帰らない想定。特に南海トラフがきたら帰れない。会社等で安全を確保して移動しない前提で考える方針が出ているよう。子供たちの関係についても実際起きたらどういうことが想定されるか考え

ながらできることを見出していかなければ難しいと思う。
避難所の考え方も変えている。災害関連死をゼロにするのが目標。根本的に改める。
これらを踏まえて訓練を考える。

○社会福祉協議会

・ 3月16日、助成を出している団体の活動状況報告を受けた。協定を結んでいる団体とお互いに知り合う機会を設けた。いろいろな活動を皆さんがされているので賞を出すなどした。

○児童館・市民センター

・ 皆さんといろいろ協力して行うことは正直難しいところもある。児童館が外に出ていくことは運営上難しい。何かの時には職員が協力させていただく。小・中学校にやっていることのお便りは出すが毎月の計画の中でのものなのでなかなか見えな
いかと思う。

うまく連携できるのであれば、コロナ禍前はボランティアもお願いしていたはず。
検討していかなければいけない。最近は中学校の吹奏楽部に児童館主催の定期演奏
会のようなかたちでお願いしている。

・ 帰りがけ市民センターにいる時間、子供たちに注意する傾向がある。気になる点
あれば学校に伝える。怒らずに注意をさせていただく。

<会長>

・ アフター5の子供たちの様子がわからないのでこういう場で話していただけたら
と思う。

・ 最後に自分から。ボランティア振り返りの会で3年生のボランティアに参加した
ことのある20人くらいに話を聞いた。手伝いだけでなく自分たちで考えてやるこ
うことが中学生のためになっているのでは。

とてもいきいきと意見を言ってくれた。参考にさせてもらう。

議題（4）

その他

<会長>

全体を通じて何かありますか？

<委員>

委嘱状の交付式の連絡はあるか？昨年度は3月18日付けだった。

<南小教頭>

学校には来ていない。

<会長>

我々のスケジュールもあるので確認してもらえるか？

<南中教頭>

聞いてみて、皆さんに連絡します。推薦状は基本的には今のメンバーで出します。

<会長>

来年度第1回目は5月9日（金）、2回目は9月2日（火）です。

以上で学校運営協議会を終了いたします。ありがとうございました。